

# ひよっこ調査員の大蔵院報告書♪

神戸学院大学 人文学部人文学科 1 回生  
ひよっこ調査隊：橋田若奈・辻菜摘・竹内結香・万前勇人

大蔵院フィールドワーク

すべての場所に林田畳店の畳が入ったのは櫻井住職の晋山式の時（平成 5 年）だそうです。

今回私たちは、林田畳店の畳が使われている明石市立天文科学館の南に位置する大蔵院にお邪魔しました。

大蔵院のご住職はとても気さくな方でした。

Q.1 大蔵谷の由来の説として和尚さまが一番有力だと思う説は？

A.和尚が一番有力だと思う説は、『くすの木説』

むかし大蔵谷には、朝には袂路島、夕方にはなにわの名やまてを落とすと言われた程のとても大きなくすの木があり、当然その樹の根元にあった大蔵谷は昼間でも真っ暗である。そこから「おお〜暗い谷だなぁ」→「おお〜暗い谷」→「おおくつたに」になったと言われている。

大蔵院の耐震のために建てたこの柱の横にある小さな畳に注目！

この小さな畳も林田さんのアイデアです！

大蔵院の耐震のために建てたこの柱の横にある小さな畳に注目！

13年ほどお替えをすることによって60年ほど使えらるので、経済的かつ環境に優しいことである。

臨済宗は様々な神仏を許容する宗派なので仏教もあれば、お地蔵様もある。

床の間に檜が向いていると連想させるから、床の間と天井はほかの場所の天井と違って、竿縁の向きが床の間と平行になるように作られている。